

アストラ・インターナショナル(ASII)

自動車、二輪車ともに市場シェアの拡大、重機販売台数も7割増

インドネシア|コングロマリット|決算レビュー

BLOOMBERG ASII:IJ | REUTERS ASII:JK

- 2017/12 期 3Q (1-9 月) は売上高が前年同期比 13.6%増の 150 兆 2,250 億 IDR、純利益が同 25.7%増の 14 兆 1,840 億 IDR と増収増益。
- 自動車事業では自動車、二輪車ともに市場シェア拡大。
- 競合他社の新規参入に対抗するため、乗用車の大幅な改良を発表。2017/12 通期の市場予想は売上高が前年同期比 10.6%増の 200 兆 3,655 億 IDR、純利益が同 30.3%増の 19 兆 7,447 億 IDR である。

What is the news?

2017/12 期 3Q (1-9 月) は売上高が前年同期比 13.6%増の 150 兆 2,250 億 IDR、純利益が同 25.7%増の 14 兆 1,840 億 IDR と増収増益となった。7 事業のうち 5 事業が増収となった。

セグメント別では、主力の自動車事業は、売上高が前年同期比 1.6%増の 71.57 兆 IDR、純利益が 9.7%増の 6.57 兆 IDR だった。激しい競争環境により値下げ圧力は強まったものの、自動車、二輪車ともに市場シェアが拡大。自動車が 2Q の 54%に対し 55%、二輪車が同 73%対し 75%となった。金融サービス事業は、売上高が同 6.7%増の 13.13 兆 IDR、純利益が同 42.1%増の 2.94 兆 IDR だった。傘下のプルマタ銀行で不良債権のポートフォリオの売却を行い、収益が改善。重機・鉱業事業は売上高が同 36.5%増の 46.25 兆 IDR、純利益が同 79.6%増の 3.40 兆 IDR だった。石炭価格が回復したことで、建設機械や鉱業事業の業績が改善した。コマツ製の重機販売台数は前年同期比 73%増の 2,744 台となり、市場シェアも同 3%増の 36%と市場シェアトップを維持。農業関連事業は売上高が同 30.3%増の 12.49 兆 IDR、純利益が同 22.8%増の 1.12 兆 IDR だった。インフラ・物流事業は、新規に開業したチョコパパラナマン有料道路の建設費用が響き、売上高が同 2.8%減の 5.82 兆 IDR、純利益が赤字転落の▲0.06 兆 IDR となった。情報技術システム事業は、売上高が同 18.9%増の 2.06 兆 IDR、純利益が同横ばいの 0.10 兆 IDR だった。不動産事業は売上高が同 95.7%増の 0.04 兆 IDR、純利益が 15.5%増の 0.09 兆 IDR だった。

How do we view this?

同社は、競合他社の新規参入が相次いでいることに対抗するため、「ラッシュ」、「テリオス」の乗用車 2 車種を大幅に改良したと発表。発売は 2018/1 を予定している。インドネシアの自動車需要は堅調で、インドネシア自動車協会(ガイキンド)によると、1-10 月の国内自動車販売台数は前年同期比 2.7%増の 898,272 台であった。2017 年通期(1-12 月)では、前期の 106 万台に対して 110 万台に達する可能性も指摘。

2017/12 通期の市場予想は売上高が前年同期比 10.6%増の 200 兆 3,655 億 IDR、純利益が同 30.3%増の 19 兆 7,447 億 IDR である。

業績推移

※参考レート 1IDR=0.0082円

| 事業年度 | 2014/12 | 2015/12 | 2016/12 | 2017/12F | 2018/12F |
|------------|---------|---------|---------|----------|----------|
| 売上高(十億IDR) | 201,701 | 184,196 | 181,084 | 200,365 | 215,904 |
| 純利益(十億IDR) | 19,191 | 14,464 | 15,156 | 19,744 | 21,827 |
| EPS(IDR) | 374 | 357 | 465 | 486 | 538 |
| PER(倍) | 22.33 | 23.39 | 17.96 | 17.19 | 15.51 |
| BPS(IDR) | 2,359 | 2,521 | 2,765 | 3,051 | 3,385 |
| PBR(倍) | 3.54 | 3.31 | 3.02 | 2.74 | 2.47 |
| 配当(IDR) | 216.00 | 177.00 | 168.00 | 206.33 | 239.63 |
| 配当利回り(%) | 2.59 | 2.12 | 2.01 | 2.47 | 2.87 |

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

配当予想(IDR) **206.33** (予想はBloomberg)
 株価(IDR) **8,350** 2017/11/29

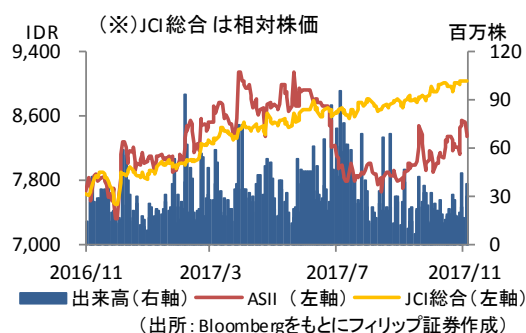
会社概要

1957年にジャカルタで貿易会社として創業。1990年にアストラ・インターナショナルへ改称し、インドネシア証券取引所に上場。主力の自動車・二輪車を中心に、金融サービス、重機・鉱業、農業関連事業、インフラ・物流、情報技術、不動産の7つの事業セグメントを展開する複合企業で、インドネシア国内最大の企業グループの1つ。200社以上の子会社や合併会社、関連会社を抱え、インドネシア全域で事業を展開する。従業員は20万人を超える。

国内向けに自動車・二輪車、有料道路、プリンター、銀行・保険業務、重機、物流サービス、情報技術システム、鉱業サービス等を提供し、パーム油、石炭、自動車などの輸出も手掛ける。自動車はトヨタ、ダイハツ、いすゞ、BMW、プジョーなど、バイクはホンダ、建機ではコマツと提携している。

企業データ(2017/11/30)

ベータ値 1.28
 時価総額(十億IDR) 335,001
 企業価値=EV(十億IDR) 409,980
 3か月平均売買代金(十億IDR) 196.44



主要株主(2017/11)

(%)
 1. Jardine Cycle & Carriage 50.11
 2. Vanguard Group 2.22
 3. BlackRock 1.72
 (出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

庵原 浩樹
 hiroki.ihara@phillip.co.jp
 +81 3 3666 6980
 増淵 透吾
 togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。